

No.7

2030カーボンハーフ実現のための 都民の共創プラットフォーム構築

4.9 億円程度
(事業期間3年間)

メタバース空間に構築した「ゼロエミッション・シティ」で温室効果ガスの排出削減に小中高大学生が取り組む体験型学習アプリを開発。次代の環境リーダー養成と、都政での実装を見据えた学生の柔軟なアイデア創出を目指します。

メタバース空間 「ゼロエミッション・シティ」



① 日常のどんな行動がどれ程CO2削減に繋がるか学ぶ



自動車ですらまで送って
もらうのではなく歩いてみる



行動前 行動後
毎日続けた時の年間CO2
排出量の変化を確認できる

② 省エネに繋がる施策のアイデアを仮想空間で試す

全ての家に太陽光
パネルを設置したら
どうなるだろう？

アイデア出し



メタバースで
実験して効果を検証



ユーザ同士で
評価し合う

リアル空間

実生活での実践：

- 学んだ行動をユーザーが日常生活で実践することで、実際のCO2排出減に繋げる

実際の都政への反映：

- 特に優れたアイデアは都が政策への反映を検討

○ **メタバース空間での体験型学習を通じた学生の問題意識の醸成**

- 様々な行動の電力消費シミュレーションを行いメタバース空間に実装し、学校との協力のもと環境学習の一環として活用してもらうことで、学生たちはどんな行動がどれくらい温室効果ガスの排出減に繋がるかを体験的に学習できます。

○ **都政と連携し、学生たちの着想を実際の「ゼロエミッション」施策として具現化**

- 学生たちが「ゼロエミッション・シティ」で考案したCO2排出量削減に向けたアイデアのうち特に優れたものについては、都の掲げるゼロエミッション目標達成に向けた施策への反映を検討します。

事業実施による効果

自分なりの省エネ行動を自然に日常生活の中で実践できる環境リーダーの養成と、子どもを起点とした各家庭でのゼロエミッション行動の浸透を目指します。